

行政評価調査

事務事業名	商工祭	評価初年度	平成 28 年度
実施主体	商工祭実行委員会	担当部署名	産業経済部商工課
第6次総合計画上の施策項目		コード	事業の根拠法令等
大項目	未来に躍動する活力ある「みと」づくり	2	種類 1. 法令 2. 条例・規則 3. 要項 4. 計画等 5. 特になし 5
中項目	活力あふれる産業の振興	2	
小項目	商業の振興	2	
		名称	

1 事業の概要、目標

①事業の開始時期	昭和51年度	②事業の完了予定の有無（有／無）	無	年度
③事業の概要 （概要）商工祭・農業祭の合同で実施される水戸市産業祭は、水戸市の商工業および農業を広く市民に紹介し、その振興・発展と、市民生活の向上を目的に開催するものであり、各事業者の地場産品の展示即売や、JAによる新鮮野菜の販売、飲食コーナーや各種展示、ステージイベントなどを実施している。 （主催）産業祭実行委員会、商工祭実行委員会（市補助金）				
④事業の目的				
ア【対象】誰を（何を）対象に 市民		対象者（平成28年4月1日） 約27万人		
イ【理想像】どのような状態にしたいのか。 水戸市産業祭（商工祭）の開催を通して、市民の産業への関心を高めるほか、市内事業者へ各事業等のPRの場を提供するなどし、産業振興を図る。				
⑤成果指標（市民の視点による目的の成果を示す指標。理想像を数値化したもの。）				
成果指標1				
指標	イベント来場者数	説明	各年度におけるイベントの来場者数	
成果指標2				
指標	前年より売り上げの増加した店舗数 ※出店者アンケート	説明	各年度における売り上げの増加店舗数 ※出店者アンケート	
⑥手段 【手段】どのような手法により実施するのか。 水戸商工会議所が事務局となり、実行委員会が主催。 市からの補助金のほか、会員から出展料を徴収し運営費としている。 会場設営等を会議所会員に委託し、費用を抑えるなど、効率的な運営に努めている。				
⑦必要性 【必要性】どうして必要なのか。 水戸市産業祭（商工祭）は開催回数が40を超え、市内事業者のPRの場として定着し、毎年一定の来場や出展があるほか、水戸市の産業をコンセプトに開催されるイベントはほかに存在しないため必要性が高い。				
⑧有効性 【有効性】どうして有効なのか。 毎年、一定の来場や出展があり、協同組合等の出展による、この場でしか受けられないワークショップ等の独自サービスもあるため、産業への関心を高めるイベントとして有効である。				
⑨類似事業（民間における類似事業、市が実施している類似事業） 内原ふれあいまつり				

⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察（市直営⇒民間・NPO，実行委員会⇒市直営，民間・NPO）

市の産業振興にコンセプトを絞って開催されるイベントであるため，市内事業者と密接な関係にある水戸商工会議所が事務局であるのが効率的である。

2 成果指標（事務事業の実績）

指標名	成果指標 1 イベント来場者数（人）			成果指標 2 前年より売り上げの増加した店舗 ※出店者アンケート		
	目標	実績	達成率(%)	目標	実績	達成率(%)
25 年度	65,000	85,000	130.8	10	11	110.0
26 年度	85,000	82,000	96.5	11	17	154.5
27 年度	30,000	33,000	110.0	5	1	20.0
28 年度	33,000	42,000	127.3	1	8	800.0
29 年度	42,000	53,000	126.2	8	8	100.0
30 年度	53,000			8		
31 年度						
①目標値の根拠	来場者数前年度以上			売り上げの増加した店舗前年度以上		
②数値で表せない効果	・市内産業の振興					

※目標年度の数値は，必ずしも市の方針として決定したものが記されているわけではありません。

3 行政コストの推移（補助事業の場合は、内訳を別紙1で作成すること。）

	①行政コスト（千円）				②単位当たりの行政コスト （①行政コスト／成果指標1）（円）
	財源内訳（千円）		支出内訳（千円）		
H 25 決算	国県支出金		旅費		36.47
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	
H 26 決算	国県支出金		旅費		37.80
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	
H 27 決算	国県支出金		旅費		93.94
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	
H 28 決算	国県支出金		旅費		73.81
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	
H 29 決算	国県支出金		旅費		58.49
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
	3,100		その他	3,100	
H 30 予算	国県支出金		旅費		/
	市債		報償費		
	その他		需用費		
	一般財源	3,100	役務費		
			委託料		
		使用料・賃借料			
		その他	3,100		

③コスト削減の取組

商工会議所青年部の協力や学生ボランティア等を活用するほか、来場者駐車場の整備等を事務局等で実施し、経費削減に努めている。

4 1年目評価

(1) 1次評価（内部評価） ※各担当課による評価

ア 評価シート

該当する場合は、○を付けること。

必要性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①法令により市が実施することが義務付けられている事業又は市民の生命・財産を守るため、市が実施することが必要不可欠な事業である。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性 	
		②「①」に該当しないが、法令により実施することを期待されている事業又は条例により実施することとされている事業である。	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の根拠法令等 ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性 	
○		③対象者の基本的な生活の維持・確保に必要な事業又は行政内部の管理上必要な事業である。	<ul style="list-style-type: none"> ・1-④事業の目的 ・1-⑦必要性 	市内事業者の発展とともに、市民生活の向上に寄与することから、イベントの継続が必要である。
○		④対象者のニーズが高い事業である。	<ul style="list-style-type: none"> ・1-⑦必要性 	市内事業者が事業PRする場所として積極的に参加している。
○		⑤民間、NPO等に類似事業はない。	<ul style="list-style-type: none"> ・1-⑨類似事業 	産業をコンセプトに開催されるイベントはない。
合計			評価結果	A
3	点			
有効性		各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
		①成果指標の目標値が最大値となっており、かつ、実績が目標値に達している。	<ul style="list-style-type: none"> ・2-成果指標 	
○		②市民生活上又は行政内部の管理上有効である。	<ul style="list-style-type: none"> ・1-⑧有効性 ・2-成果指標 	市内事業者の発展とともに、市民生活の向上に寄与することから、イベントの継続が有効である。
		③成果指標の実績が目標に達している。	<ul style="list-style-type: none"> ・2-成果指標 	
○		④対象者のうち、実際にサービスを受ける者が、特定の者に偏っていない。	<ul style="list-style-type: none"> ・1-④事業の目的 	全市民を対象にしたイベントである。
○		⑤事業の目的を達成するための手段が適切である。	<ul style="list-style-type: none"> ・1-⑥手段 ・別紙2 イベント詳細シート 	市内事業者と密接に関わっている水戸商工会議所が事務局を担うことにより、市内事業者の出展等がスムーズに行われている。
合計			評価結果	A
3	点			

事務事業の評価

効率性	各項目1点とする。ただし、①は無条件で4点とする。	評価調書の確認箇所	理由等所見欄
	①効率性向上の余地はない。	・3-①行政コスト	
○	②コスト削減への取組を実施している。	・3-③コスト削減の取組	会場設営の一部や来場者駐車場の整備などを事務局等で実施し、できる限り費用の掛からないように考慮している。
○	③他の主体が実施するよりも効率的である。	・1-⑩他の主体が実施した場合の効率性についての考察	水戸商工会議所が事務局を担うことにより、労力を要する出展調整がスムーズに行われている。
	④市の事務事業で類似したものはなく、他の事業と統合することは難しい。	・1-⑨類似事業	
	⑤成果指標の単位当たりの行政コストは前年度より低くなっている。	・3-②単位当たりの行政コスト	
合計		評価結果	B
2	点		

イ 評価結果

①今後の方向性	2	⇒ うち「見直しの上で継続」の場合の今後の方針	イ
方向性			
1 現状のまま継続			
2 見直しの上で継続			
ア 主体を代える（実施主体を代える）			
イ ○ 手段を改善する（実施の手段を代える）			
ウ 効率化を図る（単位当たりのコストを下げる）			
エ 簡素化する（規模を縮小する）			
オ 統合する（類似事業を統合する）			
3 休止、廃止			

②課題と解決方法（「見直しの上継続」及び「休止、廃止」の場合、記入する。）
 屋外でのイベントであるため、来場者数は天候により大きく左右されてしまう。
 今後は、単位当たりの行政コストの削減が図られるよう、更なる集客に向けたPRや情報発信に努めるとともに、来場しやすい開催場所の検討を進める。

(2) 2次評価(外部評価) ※ 行政評価委員会による評価

委員会による意見

今後の方向性	見直しの上で継続(手段を改善する)
<p>評価する点、改善すべき点</p> <p>商工祭は、商業の振興・発展と市民生活の向上を目的とした、実行委員会が実施主体のイベントであり、農業祭と合同で産業祭として開催されている。</p> <p>本イベントについては、商業者と市民との交流の場として有益であるとともに、実行委員会による運営についても、おおむね評価できるものである。</p> <p>しかしながら、農業祭と同様の観点から、来場者が8万人を超える中、天候や駐車場によって集客が影響される状況は課題であり、担当課が十分認識しているように、開催場所の検討が必要である。アンケート結果や出店者・来場者の意向を踏まえた上で、適切な開催場所を選定していくべきである。</p> <p>また、イベントに要する費用は、市からの補助金、出店者からの出店料、JA水戸の分担金及び商工会議所の負担金で構成されるが、分担金は、農業祭との合同開催により発生する共通経費分であることから、JA水戸が負担するのではなく、農業祭実行委員会が負担すべきものと考えられ、費用負担のあり方を検討するべきである。また、市の補助金額が毎年度同額であることから、積算根拠を明確にするなど妥当性について検証が必要である。</p> <p>目標設定についても、イベント来場者数の目標は農業祭と商工祭で異なるが、実績は産業祭として同じ実績になっている。そのため、農業祭実行委員会と協議して、目標設定の統一などを図るべきである。</p> <p>広報についても、新聞の折り込みや市立幼稚園・小学校へのチラシの配布を行ったとのことであるが、その他にも水戸市のホームページ、SNSなどを通じた広報などにより、新聞を購読していない若者への周知を図るとともに、農業祭と連携をしながら、水戸市民にとどまらず、茨城県民や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討するべきである。</p> <p>そのため、1次評価の「見直しの上で継続(手段を改善する)」は、妥当である。</p> <p>なお、農業祭及び商工祭は、合同で産業祭として実施されているイベントであり、二つのイベントを分けて審議することが難しいことから、次年度以降の評価のあり方について検討するべきである。特に収支報告については、産業祭としてのものを用意した上で、農業祭と商工祭単独のものを作成してもなお不公平や矛盾が生じないように、対応を進めるべきである。</p>	

(3) 3次評価(総合評価) ※ 行政改革推進本部による評価

今後の方向性	見直しの上で継続(手段を改善する)
<p>商工祭は、実行委員会が実施主体のイベントであり、農業祭と合同で産業祭として開催され、商業者と市民との交流の場として有効であるとともに、実行委員会による運営についても適切に実施されている。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、天候や駐車場によって集客に影響が出る状況は課題であるため、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、開催場所を検討する必要がある。</p> <p>また、イベントに要する費用については、市からの補助金が毎年度同額であることから、補助額の妥当性等の観点から、支出内容を精査し、費用対効果について検証する必要がある。</p> <p>来場者数の目標設定については、農業祭実行委員会と協議して統一を図る必要があるほか、広報についても、市外や県外に対してもPRするなど、効果的な発信方法を検討する必要がある。</p> <p>そのため、「見直しの上で継続(手段を改善する)」とする。</p> <p>なお、次年度以降の評価方法については、行政評価委員会からの意見にあるとおり、産業祭としての収支報告も作成した上で、農業祭と合同で評価を行うなど、検討するものとする。</p>	

※2次評価に記載のある「分担金」について

分担金については、農業祭及び商工祭に共通してかかる経費であり、農業祭実行委員会（事務局：JA水戸）から商工祭実行委員会（事務局：商工会議所）へ支出している。なお、主なものとして、警備費用、ステージ設営費用、電気設備費用等がある。

現在、JA水戸名義で分担金の振込を行っており、2次評価において、農業祭実行委員会名義で振込を行うことについて指摘を受けたところである。しかし、実際は、農業祭実行委員会から支出していることから、今後は、振込名義をJA水戸から農業祭実行委員会に修正するものとする。

5 1年目改善目標（1年目評価の方向性が「見直しの上で継続」又は「休止、廃止」の場合に記入する。）

改善目標 （又は休止、廃止の方向性）	農業祭との合同開催であるため、農業祭実行委員会と協議し、出店者からのアンケート結果等を踏まえ、来場者及び出店者の利便性が向上するよう、開催場所を検討するとともに費用対効果を検証する。また、来場者数の目標設定について統一を図るとともに、効果的なPR方法を検討する。
-----------------------	---

6 2年目評価（進行管理）

(1) 1次評価（内部評価）

①見直しの状況など事務事業の現況

平成28年度について、1年目改善目標である開催場所の検討を行った結果、天候等によって集客に影響があることは懸念されるものの、水戸駅から近く公共交通の利便性が良いこと、まちなかのにぎわいに寄与すること、雨天時の水はけが良いことなどの条件等を考慮し、茨城県三の丸庁舎イベント広場で開催した。なお、農業祭実行委員会との協議及び来場者からのアンケート結果より、来場者駐車場等についての意見があったものの、開催場所はおおむね好評であったと評価することから、更なる来場方法の確保を検討しつつ、本年度も引き続き、同場所での開催に向けて各種手続を進めることとする。

費用対効果としては、産業祭来場者アンケート等から計算した経済波及効果が105百万円（来場者消費額等から算出）あり、一定の効果があったと考える。

目標数（来場者数）については、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会と協議し、今年度から統一を図った。

イベントPRの手法としては、平成28年度から民間事業者に協力を依頼し、タウン誌へ掲載を行ったほか、市や商工会議所のSNS等の活用による各種広報を強化した結果、来場者数が増加した。

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)</p> <p>商工祭は、昨年度の評価を受け、開催場所の検討、費用対効果の検証、農業祭との来場者数の目標設定の統一及び効果的なPR方法の検討を改善目標として掲げているところである。</p> <p>このうち、開催場所の検討については、昨年度、会場を千波湖イベント広場から茨城県三の丸庁舎イベント広場に変更して開催したところ、概ね好意的なアンケート結果であったこと、来場者数の目標設定の統一については、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会において協議して統一を図ったこと、効果的なPR方法の検討については、民間事業者の協力によりタウン誌へ掲載するとともに、市や商工会議所のSNS等を活用したPRを実施し、広報手段を強化したことなどが認められた。</p> <p>しかしながら、費用対効果の検証については、経済波及効果を検証し一定の効果を確認したものの、産業祭実行委員会としての会計では、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の共通経費に係る費用負担の根拠が不明確である。特に、分担金は、農業祭実行委員会から商工祭実行委員会に対して支出され、共通経費としてチラシの作成費や警備費に充てているが、商工祭実行委員会に比べ、農業祭実行委員会の費用負担が小さく、これに対する合理的な理由が見いだされていないと思われる。分担金を含めた費用負担のあり方については、実行委員会ではこれまで特に課題となってきたところであるが、市民に対して説明責任を果たすためには、費用負担の割合を取り決めするなど根拠を明確にするべきである。</p> <p>このようなことから、更なる改善を進めることとし、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	評価継続
<p>○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)</p> <p>商工祭は、開催場所の検討、費用対効果の検証、商工祭との来場者数の目標設定の統一及び効果的なPR方法の検討を2年目評価における改善目標としている。</p> <p>このうち、開催場所の検討については、昨年度、会場を千波湖イベント広場から茨城県三の丸庁舎イベント広場に変更して開催したところ、おおむね好意的なアンケート結果であった。また、来場者数の目標設定の統一については、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会において協議して統一を図った。さらに、効果的なPR方法の検討については、民間事業者の協力によりタウン誌へ掲載するとともに、市や商工会議所のSNS等を活用したPRを実施し、広報手段を強化した。</p> <p>しかし、行政評価委員会からの意見にあるとおり、費用対効果の検証については、経済波及効果を検証し一定の効果を確認したものの、産業祭実行委員会としての会計では、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の共通経費に係る費用負担の根拠が不明確である。特に、分担金は、農業祭実行委員会から商工祭実行委員会に対して支出され、共通経費としてチラシの作成費や警備費に充てているが、商工祭実行委員会に比べ、農業祭実行委員会の費用負担が小さいなど、商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の費用負担の割合の根拠が不明確であることから、費用負担の割合を取り決めするなど根拠を明確にする必要がある。</p> <p>このようなことから、次年度も引き続き評価を継続するものとする。</p>	

7 2年目改善目標（2年目評価で見直しを指摘された場合に記入）

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	分担金を含めた共通経費に係る費用負担について, 産業祭実行委員会において協議・決定するなど, 明確化に努める。
------------------------	---

8 3年目評価(進行管理)

(1) 1次評価(内部評価)

<p>○見直しの状況など事務事業の現況 産業祭実行委員会において, 商工祭実行委員会及び農業祭実行委員会の分担金を含めた共通経費等の費用負担について協議を行い, 平成30年度産業祭の負担割合を決定した。</p>

(2) 2次評価(外部評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政評価委員会からの指摘事項など)	

(3) 3次評価(総合評価)

今後の方向性	
○特記事項(行政改革推進本部からの指示事項など)	

9 3年目改善目標(3年目評価で見直しを指摘された場合に記入)

改善目標 (又は休止, 廃止の方向性)	
------------------------	--

(別紙1-②)事業費内訳(補助事業) ※商工祭の事業費内訳

(収入)

科目	金額(円)						増減(29-28年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度予算		
1 補助金	3,100,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000	3,100,000		
2 事業収入	2,594,000	2,506,500	2,426,500	2,171,500	2,313,000	2,400,000	87,000	会場変更による増収が見込まれるため
3 分担金	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000		
4 負担金	450,415	347,026	1,385,964	2,187,373	2,801,268	2,800,000	-1,268	
5 賛助金								
6 雑収入								
合計	6,694,415	6,503,526	7,462,464	8,008,873	8,764,268	8,850,000	85,732	

(支出)

科目	金額(円)						増減(30-29年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度予算		
1 会場設営費	3,486,225	3,527,920	4,814,944	5,089,919	4,979,450	5,530,000	550,550	
①設営費	2,950,000	2,985,000	4,420,000	4,650,000	4,650,000	4,490,000	-160,000	体育館利用のため
②工事費	227,000	237,600	394,944	435,120	312,000	480,000	168,000	体育館中の音響設置のため
③賃貸料	309,225	305,320		4,799	17,450	560,000	542,550	会場賃借(体育館ほか)のため
2 イベント費	1,381,705	1,305,100	1,227,255	1,272,254	1,296,218	1,543,000	246,782	明治維新150周年イベント実施のため
3 広報宣伝費	517,860	441,114	433,357	443,037	567,453	580,000	12,547	
4 会議費	4,288		2,920			10,000		
5 管理運営費	1,046,252	1,011,246	869,236	1,042,343	1,588,853	1,000,000	-588,853	
①警備費	569,100	561,600	399,175	676,653	1,169,873	600,000	-569,873	体育館利用による警備員減のため
②諸費	477,152	449,646	470,061	365,690	418,980	400,000	-18,980	
6 事務局費	258,085	218,146	114,752	161,320	332,294	187,000	-145,294	
①印刷費	114,450	134,420	25,920	25,920	190,960	56,000	-134,960	パーキングマップの作成がなくなったため
②通信費	27,100	13,002	16,632	29,406	13,308	30,000	16,692	
③消耗品費	116,535	70,724	58,380	103,801	123,176	98,000	-25,176	
④雑費			13,820	2,193	4,850	3,000	-1,850	
7 予備費								
合計	6,694,415	6,503,526	7,462,464	8,008,873	8,764,268	8,850,000	75,732	

(収支)

	金額(円)					
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度予算
合計						

(別紙1-②)事業費内訳(補助事業) ※産業祭全体の事業費内訳

(収入)

科目	金額(円)						増減(29-28年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度予算		
1 補助金	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000	4,750,000		
2 事業収入	2,594,000	2,506,500	2,426,500	2,171,500	2,300,000	2,400,000	100,000	会場変更による増収が見込まれるため
3 分担金	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000	550,000		
4 負担金	588,969	479,189	1,496,444	2,298,358	2,800,000	2,800,000		
5 賛助金	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000	1,650,000		
6 雑収入						100,000		
合計	10,132,969	9,935,689	10,872,944	11,419,858	12,050,000	12,250,000	100,000	

(支出)

科目	金額(円)						増減(30-29年度)	増減理由
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度決算	30年度予算		
1 会場設営費	4,330,725	4,391,662	5,576,182	5,974,061	6,065,000	6,430,000	365,000	
①設営費	3,674,500	3,728,742	5,181,238	5,534,142	5,700,000	5,390,000	-310,000	体育館利用のため
②工事費	227,000	237,600	394,944	435,120	360,000	480,000	120,000	体育館中の音響設置のため
③賃貸料	429,225	425,320		4,799	50,000	560,000	510,000	会場賃借(体育館ほか)のため
2 イベント費	3,565,660	3,466,122	3,528,948	3,460,663	3,530,000	3,653,000	123,000	明治維新150周年イベント実施のため
3 広報宣伝費	517,860	441,114	433,357	443,037	590,000	580,000	-10,000	
4 会議費	67,748	37,907	71,050	64,000	60,000	80,000	20,000	
5 管理運営費	1,046,512	1,013,326	869,236	1,042,343	1,307,000	1,030,000	-277,000	
①警備費	569,100	561,600	399,175	676,653	1,200,000	630,000	-570,000	体育館利用による警備員減のため
②諸費	477,412	451,726	470,061	365,690	377,000	400,000	23,000	
6 事務局費	604,464	585,558	394,171	435,754	498,000	477,000	-21,000	
①印刷費	166,050	186,020	68,320	74,520	86,000	136,000	50,000	
②通信費	27,660	13,734	25,619	30,964	40,000	40,000		
③消耗品費	288,314	270,184	191,532	220,647	269,000	198,000	-71,000	
④雑費	122,440	115,620	108,700	109,623	103,000	103,000		
7 予備費								
合計	10,132,969	9,935,689	10,872,944	11,419,858	12,050,000	12,250,000	200,000	

(収支)

科目	金額(円)					
	25年度決算	26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	30年度予算
合計						

(別紙2) イベント詳細シート

イベント名 水戸市産業祭

(実施主体等の関与の状況)

実施主体等	関与の形態	具体的な役割
商工祭実行委員会	主催	本部, ステージ, 案内, 広報, マスコットキャラクター等
イベント会社	その他	会場設営等

(イベント当日の運営に係る職員) ※ 平成29年度実績 (開催日: 11月25日, 26日)

	人数	主な業務
市職員	5人程度	本部3人, マスコットキャラクター2人
実行委員会	16人程度	本部10人, ステージ2人, 案内4人
委託会社職員	14人程度	テント12人, ステージ音響2人
ボランティア (青年部)	30人程度	各種イベントの実施30人
計	65人程度	

(イベント開催までのスケジュール) ※ 平成29年度実績

年月	内容
平成29年5月	第1回ワーキング会議
平成29年7月	第2回ワーキング会議
平成29年8月	商工祭実行委員会
平成29年9月	産業祭実行委員会 (商工祭+農業祭)
平成29年11月	第41回産業祭

(これまでの開催実績)

年月日	第○回	会場名	参加者数 (人) (A)	係員数 (人) (B)	総数 (人) (A+B)
25年11月16日, 17日	38	水戸市総合運動公園	85,000	65	85,065
26年11月15日, 16日	39	水戸市総合運動公園	82,000	65	82,065
27年11月14日, 15日	40	千波公園ふれあい広場	33,000	65	33,065
28年11月14日, 15日	41	茨城県三の丸庁舎イベント広場	42,000	65	42,065
29年11月25日, 26日	42	茨城県三の丸庁舎イベント広場	53,000	65	53,065

※ 係員数には、イベント当日の運営に係る職員 (市職員, 実行委員会, 委託会社職員, ボランティア等) を含めてください。

(他市町村における類似イベントの実施状況)

市町村名	実施主体	イベント名	実施年度	参加者数(人)	係員数(人)	総数(人)	補助額(千円)	備考
那珂市	実行委員会	那珂市産業祭	H28年度	8,400	30	8,430	2,900	一日開催
那珂市	実行委員会	那珂市産業祭	H29年度	-	-	-	2,900	一日開催予定だったが荒天中止
日立市	実行委員会	日立市産業祭	H28年度	44,000	54	44,054	3,800	二日間開催
日立市	実行委員会	日立市産業祭	H29年度	102,000	54	102,054	3,800	二日間開催(会場変更:桜アリーナ)

※係員数には、イベント当日の運営に係る人数(市町村職員、実行委員会、委託会社職員、ボランティア等)を記入してください。

(参加者へのアンケートの実施)

アンケート	有
	無

※ 有の場合は、アンケート結果を添付願います。

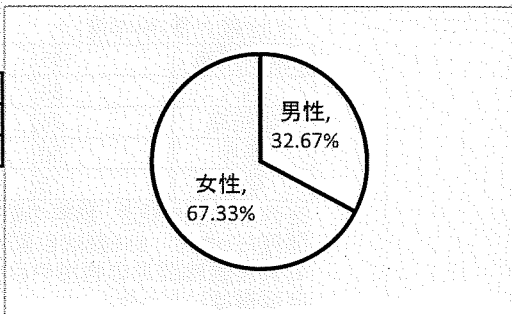
第42回水戸市産業祭来場者アンケート集計結果

調査日時	平成29年11月25日(土)・26日(日)の産業祭開催時間中		
調査方法	学生アルバイトによる来場者への聞き取り調査 ※回答者にはみとちゃんシールを配布		
調査場所	産業祭会場内各所		
サンプル数	300		

1. 来場者について

①性別

男性	女性
98	202
32.67%	67.33%



《比較対象(前年度)》

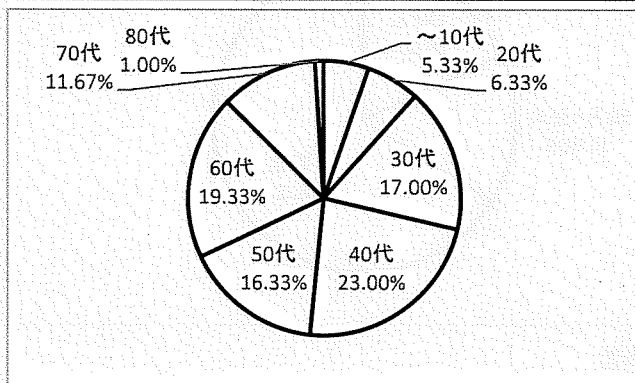
男性	33.67%
女性	66.33%

※割合は前年とほぼ変わらなかった。

▲男女比

②年齢層

～10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代
16	19	51	69	49	58	35	3
5.33%	6.33%	17.00%	23.00%	16.33%	19.33%	11.67%	1.00%



《比較対象(前年度)》

～10代	17	5.67%
20代	21	7.00%
30代	47	15.67%
40代	64	21.33%
50代	54	18.00%
60代	57	19.00%
70代	33	11.00%
80代	7	2.33%

※割合は、前年とほぼ変わらず、40代が最も多い結果となった。

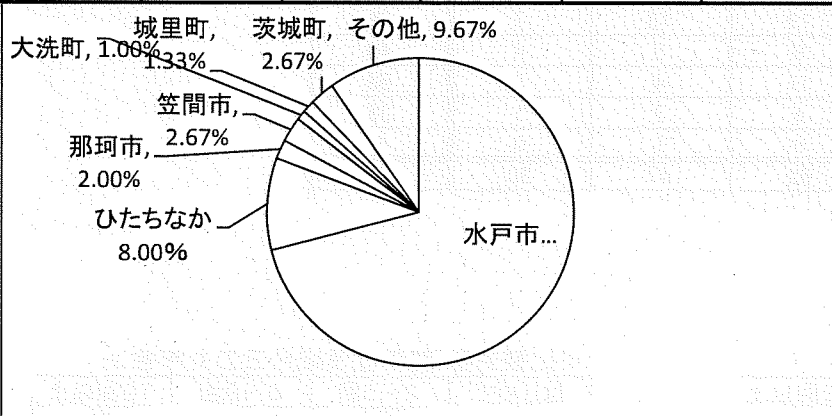
▲年齢構成比

③居住地

水戸市	ひたちなか市	那珂市	笠間市	大洗町	城里町	茨城町	その他
213	29	6	8	3	4	8	29
71.00%	9.67%	2.00%	2.67%	1.00%	1.33%	2.67%	9.67%

※その他内訳

栃木県	福島県	日立市	東海村	常陸太田市	常陸大宮市	神栖市	桜川市	
2	1	4	2	2	1	1	1	
埼玉県	高萩市	土浦市	東京都	牛久市	小美玉市	鉾田市	阿見町	無回答
1	1	1	2	1	2	2	1	4



《比較対象(前年度)》

水戸市	225	75.00%
ひたちなか市	24	8.00%
那珂市	7	2.33%
笠間市	4	1.33%
大洗町	2	0.67%
城里町	5	1.67%
茨城町	6	2.00%
その他	27	9.00%

※前年に引き続き、水戸市の来場者が7割を超えているが、若干の減少がみられる。かわりにひたちなか市などの市外や県外からの来場者が増加した。県外からの来場者のうち電車利用が数名いた。

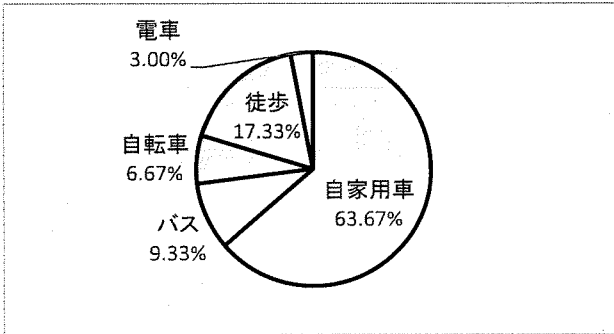
▲居住地割合

来場者の内訳では、女性が約7割。年齢層は40代が最も多く、60代、30代と続く。また、水戸市からの来場者が約7割を占めている。※昨年に引き続き、40代の来場者が最も多かった。性別・居住地については数%の増減はあったが、割合に大きな変化はみられなかった。

2. 来場の形態について

①会場までの交通手段

自家用車	バス	自転車	徒歩	電車
191	28	20	52	9
63.67%	9.33%	6.67%	17.33%	3.00%



▲交通手段

《比較対象(前年度)》

自家用車	195	65.00%
バス	21	7.00%
自転車	21	7.00%
徒歩	50	16.67%
電車	13	4.33%

※昨年に引き続き、無料の駐車場が無い状況での開催だったが、約6割は自家用車での来場だった。公共交通機関等の利用や自転車・徒歩での来場はほぼ横ばいだった。

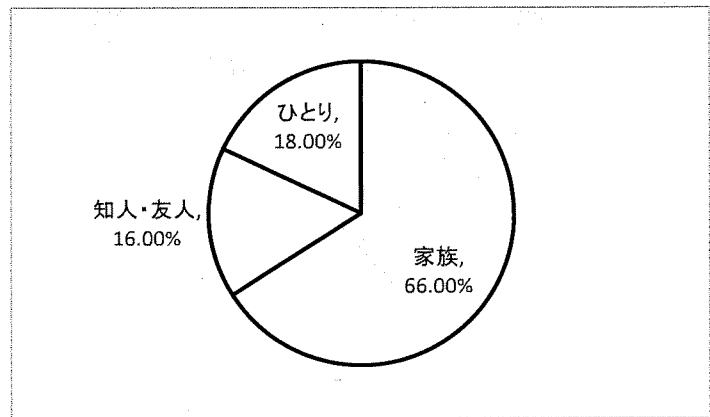
②同伴者について

家族	知人・友人	ひとり
198	48	54
66.00%	16.00%	18.00%

《比較対象(前年度)》

家族	知人・友人	ひとり
189	57	54
63.00%	19.00%	18.00%

※前年と比べ、知人・友人との来場が減少し、家族での来場が増加。ひとりでの来場に変動はなかった。



▲同伴者

③-1同伴人数(自身を含む)

1名	2名	3名	4名	5名	不明・未記入
59	102	62	47	30	0
19.67%	34.00%	20.67%	15.67%	10.00%	0.00%

③-2年齢層別同伴人数

	1名	2名	3名	4名	5名以上	合計
～10代	2	5	3	3	3	16
20代	1	7	5	3	3	19
30代	5	11	10	15	10	51
40代	8	22	19	13	7	69
50代	10	21	9	5	4	49
60代	20	21	11	4	2	58
70代	13	13	5	3	1	35
80代	0	2	0	1	0	3
	59	102	62	47	30	300

④-1水戸市産業祭来場回数

はじめて	2～5回	6～9回	10回以上
97	133	32	38
32.33%	44.33%	10.67%	12.67%

※前年と比べ、はじめての来場が減少。2～5回の来場が最も多かった。

《比較対象(前年度茨城県三の丸庁舎)》

はじめて	2～5回	6～9回	10回以上
102	121	36	40
34.00%	40.33%	12.00%	13.33%

《比較対象(平成27年度千波公園ふれあい広場)》

はじめて	2～5回	6～9回	10回以上
24	57	25	19
19.20%	45.60%	20.00%	15.20%

④-2年層別来場回数

	はじめて	2~5回	6~9回	10回以上	合計
~10代	7	9	0	0	16
20代	10	5	2	2	19
30代	21	23	5	2	51
40代	19	36	5	9	69
50代	15	17	8	9	49
60代	17	25	9	7	58
70代	8	18	2	7	35
80代	0	0	1	2	3
合計	97	133	32	38	300

来場形態をみると、昨年に引き続き自家用車での来場が約6割あった。近隣の有料駐車場等に駐車しても野菜などを運ぶには遠いため、白菜などの重量のある野菜の買い控えが見られた。無料駐車場の確保に対する要望が多くあった。公共交通機関や徒歩・自転車での来場割合は昨年と同様だった。また、知人・友人との来場が減少し、家族での来場が増加したが、ひとりでの来場に変動はなかった。

3. 買物について

①買物の有無

した	しない	不明
211	79	6
70.33%	26.33%	2.00%

②買物の金額 単位:円

1000未満	1,000~2,999	3,000~4,999	5,000~6,999	7,000~9,999	10,000以上
33	84	25	5	1	1
22.15%	56.38%	16.78%	3.36%	0.67%	0.67%

③年齢層別購入金額(買物をしたと答えた方の購入金額) 単位:円

	~999	1,000~2,999	3,000~4,999	5,000~6,999	7,000~9,999	10,000以上	平均購入額
~10代	5	4	1	0	0	0	1,100
20代	1	4	0	0	0	0	1,800
30代	6	12	8	1	0	0	1,815
40代	7	21	6	1	0	0	1,464
50代	2	15	6	1	0	1	2,630
60代	6	16	3	2	1	0	1,668
70代	6	9	1	0	0	0	1,216
80代	0	3	0	0	0	0	1,167
合計	33	84	25	5	1	1	1,726

④買ったもの(複数回答可)

野菜	日用品	菓子	バザー用品	食品	飲み物	乳製品	酒
130	24	26	9	105	25	7	7
給食工・バレンタインアート	その他						
6	4						

来場者のうち7割が、会場内で買物をしている。
買物金額は、1,000円~2,999円が最も多く、3,000円未満が全体の約8割を占める。
また、50代の平均購入額が最も高い。
購入物については、野菜・食品の順で続く。

4. 食事について

①食事の有無

した	しない	不明
136	157	7
45.33%	52.33%	2.33%

②食事の金額 単位:円

1000未満	1,000~2,999	3,000~4,999	5,000~6,999	7,000~9,999	10,000以上
43	48	6	1	0	1
43.43%	48.48%	6.06%	1.01%	0.00%	1.01%

※年齢層別食事金額(食事をしたと答えた方の食事金額)

	～999	1,000～2,999	3,000～4,999	5,000～6,999	7,000～9999	10,000以上	平均購入額
～10代	5	2	0	0	0	0	729
20代	2	4	1	0	0	0	1,179
30代	8	12	1	0	0	0	1,252
40代	14	15	2	0	0	0	1,029
50代	5	9	2	0	0	1	2,012
60代	5	3	0	1	0	0	1,383
70代	3	3	0	0	0	0	1,025
80代	1	0	0	0	0	0	600
合計	43	48	6	1	0	1	1,262

来場者の4割が会場内で食事をしている。
 食事の金額は、1,000円～2,999円が最も多く、10,000円以上が1名いた。
 また、食事の金額については、年齢層別で50代が最も多かった。

5. 会場内で興味をもったもの(複数回答可)

ステージイベント	展示物	野菜展示・販売	工業クイズ	アンケート	水戸ユラン抽選	オークション	自動車点検	木工体験
58	45	133	36	3	19	8	9	14
飲食コーナー	菓子コーナー	太陽光発電	農機具展示	JAスタンプラリー	女性会バザー	子ども向けイベント	計量コーナー	その他
65	35	7	3	42	27	40	15	0

※ステージイベント内訳

パントマイム	常盤チア	バンド演奏	関口流抜刀術	水戸黄門まつり太鼓	空手演武	アカペラ	不明
1	3	4	1	1	4	3	41

会場内で興味を持ったものとしては、野菜と飲食が多かった。
 次いで、ステージイベント・展示物・子供向けイベントの人気も高い。

6. 開催場所について

茨城県三の丸庁舎	青柳公園市民体育館	水戸市総合運動公園	その他
57	137	106	0
19.00%	45.67%	35.33%	0.00%

駐車場の確保が可能である青柳公園市民体育館・水戸市総合運動公園の割合が多かった。

7. 産業祭への要望等

■会場・駐車場について

- ・無料で利用できる駐車場を準備してほしい(同様19通)
- ・来年は他の会場で開催してほしい(同様9通)※産業祭専用の駐車場が無く、野菜などの購入が困難なため

■会場・設備について

- ・食事できるスペース(イス・テーブル)を増やしてほしい。(同様3通)
- ・現状のままで良い(同様2通)

■イベントについて

- ・キャラクター、ヒーローショーをやってほしい(同様11通)
- ・BLUE BEGINNERSを呼んでほしい。(同様5通)

第42回水戸市産業祭(商工祭部門)出店者アンケート集計結果

調査日時	平成29年12月1日～12月8日			
調査方法	産業祭(商工祭部門)出店者へFAXにて調査書を送付			
サンプル数	31	飲食	物販・展示	
		11	20	

1. 次年度開催場所について(複数回答可)

青柳運動公園	水戸市総合運動公園	ケーズデンキスタジアム	三の丸庁舎イベント広場	無回答
13	12	2	4	0

[結果]

次年度開催場所については参加店の8割が屋内会場が設営でき、来場者用の無料駐車場の確保が期待できる「青柳公園市民体育館」・「水戸市総合運動公園体育館」と回答した。

2. 今回の売上について(昨年と比較して)

多い	少ない	昨年度出店なし	無回答
8	10	8	5

[結果]

2日ともに晴天で天候に恵まれたが、昨年と比べ売上げが少ないと回答する出店者が3割ほどいた。「水戸のラーメンまつりⅢ」など、近隣のイベントと日程が重なったことなどが原因と考えられる。

3. 産業祭開催にあたって独自に企画した・検討している事項について

- ・サンプル品の提供(同様4通)
- ・店頭価格に比較して割引販売(同様6通)
- ・オリジナル商品の販売・展示(同様3通)
- ・クイズ、アンケート実施による啓発
- ・集客のため抽選会などの開催。(同様2通)
- ・購入者へのプレゼント(同様1通)

4. イベント企画について

- ・バルーンアートは子供に喜ばれる。来年もやってほしい。
- ・子どもファッションショー、特技披露など子供向けイベントを拡充してほしい。(同様3通)
- ・キャラクターショー、ヒーローショーをやってほしい。(同様4通)
- ・各店舗を回ってもらえるようなスタンプラリーをやってほしい。
- ・キッズダンス、ソーラン節など人が呼べるイベントをもっとやった方が良くと思う。
- ・子供向けの曲を演奏できるバンドを呼んでほしい。
- ・県内のゆるキャラを集めるイベントをやってほしい。
- ・ビンゴ大会を開催してほしい
- ・インスタ映えするような写真撮影ブースをつくりイベントを拡散してもらえるようにすると思う。
- ・ダンス大会を開催してほしい。

5. 出店希望

どちらでもよい	屋外(必須)	屋外が良い	屋内(必須)	屋内が良い
7	9	10	0	5

6. その他意見など

- ・2日間ともに晴天だったが、飲食ブースへの客数が少なかった(同様4通)
- ・来年度は、来場者駐車場が利用しやすく、駐車場が多くあるところで実施してほしい。(同様5通)
- ・芝生があると搬入・搬出がしづらい。体育館に会場を戻してほしい。(同様3通)
- ・飲食できるスペースを増やしてほしい。
- ・他のイベントと日程が重ならないようにしてほしい。(同様3通)
- ・試食やアンケートを店前で配る人が多く、隣の店に客が来れない。制限など検討してほしい。
- ・出店ブースが狭い。
- ・昨年と比べると、警備員の対応が適切で搬入がスムーズだった。

